

ウクライナ戦争の余波の中で

問われる骨太の平和主義

開催日 11月23日(水・祝) 14:00~16:00

講師 柳澤 協二(やなぎさわ きょうじ)氏



1946年生まれ。1970年東大法学部卒業後、防衛庁(当時)入庁。防衛審議官、防衛庁長官官房長、防衛研究所所長などを歴任。2004年から2009年まで小泉・安倍・福田・麻生の4つの政権で内閣官房副長官補(安全保障・危機管理担当)を務める

「国防」とは「国民の命を守ること」ではなく、「国民が命をかけて国を守ること」であり、このリアリティーを語る事が左右双方に足りていない。「ウクライナ戦争が始まってから、『敵基地攻撃能力(反撃能力)を保有すべき』などの勇ましい発言が有力政治家から相次いでいるが、非常に危険なものである。『敵基地攻撃』(反撃)とは、中国の本土のミサイル基地を攻撃することを意味する」

終わりの見えないウクライナ戦争ですが、教訓と台湾をめぐる米中対立と日本について講演いただきます。

対象 協会会員と会員院所の医療従事者

参加費 無料

参加方法 WEB接続(ZOOM)

お申込み QRコード・URL・メールもしくはFAX

<https://forms.gle/xVJtZcTFT2boJHF99>

愛媛県保険医協会 ホームページからも申し込み可能です。

※WEB接続のため原則QRコード・URLからお申込みください。



-----切り取らずにそのままFAXしてください-----

FAX 参加申し込み 089-989-2711 申込締切日 11月1日(火)

| | | | |
|-------------|-----|-----|------|
| 医療機関名 | TEL | FAX | ゴム印可 |
| お申込み氏名・参加人数 | | ・ | 人 |
| メールアドレス | | @ | |

主催 愛媛県保険医協会 〒790-0003 愛媛県松山市3番町4丁目7-7

TEL:089-989-2511 FAX:089-989-2711 Mail:info@ehime-hk.org